

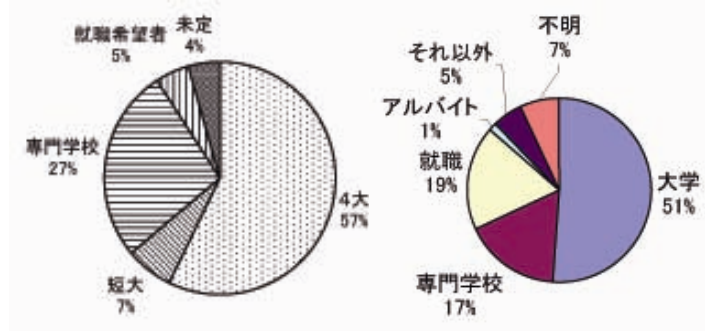
中間考査が終わりホットした気持ちと、返される答案に一喜一憂している頃と思います。今年もこの通信を通して進路についての様々な事を紹介していきます。

君たちの学習習慣は確立しているか？

進路希望調査結果(4/9 実施)と2008年全国高校生の分野別進路割合

1学期の始め進路希望調査を行いました。その結果をまとめると下の左側のグラフになります。(1年生から3年生全ての総数の割合です。)右側のグラフは今年の3月に卒業した全国高校生の進路先の割合です。

くらべると、本校の生徒は大学・短大・専門学校など進学希望者の割合が高いことがわかります。



今高校の学習で求められているもの

1989年に全国高校生生徒数は564万人でした。ところが少子化の進行で2007年には340万人と、224万人も減っています。1989年の生徒数の60%になってしまいました。その結果、進学については「脱受験競争時代」と言われています。「脱受験競争時代」とは、選り好みしなければ大学・短大・専門学校のどこかには入れる状況になったと言うことです。また、それぞれの学校で推薦やAO入試といった「学科試験」をしないで入学する生徒が現在全体の40%に達しました。その影響で、学習習慣のない生徒の増加が、今、深刻な問題になっています。

右のグラフは全国の高校生の平均学習時間です。全国高校生の1990年の平均学習時間が90分だったのに対し2006年では70分に減っています。

右のグラフは全国の高校生の平均学習時間です。全国高校生の1990年の平均学習時間が90分だったのに対し2006年では70分に減っています。

(ベネッセコーポレーション資料 参照)

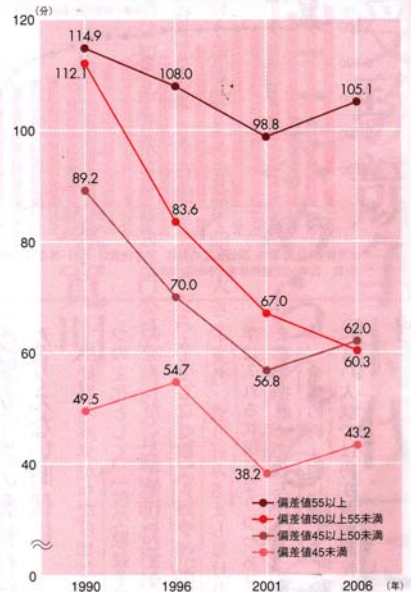
スタディサポート(4/11実施)の結果から

さて4月にスタディサポート(実力判定テスト)を1, 2年生で実施しました。その中の家庭学習時間のアンケートで本校生徒の家庭学習時間は、1・2年生でも全国の平均時間を下回る残念な結果でした。

4月9日に実施したアンケートの結果ですから、1年生の学習時間は中学時代の時間で、2年生は高校での学習時間でしょう。はじめに示した本校の進路希望の割合と、全国の平均学習時間をもう一度見比べてください。

「脱受験競争時代」だからこそ、自分が学校を選び、本当に入りたい学校の目標を定め、そこに向かい一歩ずつ学習を積み重ねて欲しいものです。

図4 高校生の平日の平均家庭学習時間



*高校生の偏差値は進研模試のデータを使用
出典/Benesse教育研究開発センター「第4回学習基本調査」

3年生ガイダンス(5/8 実施)から

六実高校の生徒は部活動や学校行事ですばらしい取り組みをしています。朝早くから放課後まで熱心に活動し、実績を上げています。しかし家庭に帰ると勉強机に向かう気力まで出ない人が多いのではないのでしょうか？そんな状況の中で「学習時間を確保させるにはどうしたら良いだろう？」と考えていたとき、3年生の進路ガイダンスで代ゼミの講師の先生からいただいた資料に良いヒントがありました。

『現役合格5ヶ条』 「15分をムダにしない」「空気に書かない/紙に書く」「教科書・辞書・参考書は手の届くところに置く」「問題集・参考書の収集マニアにならない→1冊を何回繰り返せるかがポイント」「テスト、模試の見直しは必ずする」

というものです。なかなか家での学習時間が確保できない人は「15分をムダにしない。」という事の実践。帰宅後1時間以上勉強机に向かうことはつらいものです。ならば、登下校の電車の中、学校での朝や休み時間、帰宅後15分程度の時間を見つけ、この15分大切に、1日何回か15分の時間を作れば1日1時間程度になるかも知れません。「15分をムダにしない。」という気持ちで、一人ひとりの状況に合わせて学習習慣を作る工夫をしてください。

3年生ガイダンス(5/15実施)報告

5月15日(木)5・6限、体育館において、専門学校ならびに大学の進路ガイダンスがおこなわれました。分科会Ⅰ(13:30~14:05)、分科会Ⅱ(14:10~14:45)、分科会Ⅲ(14:50~15:25)と3部にわかれ、ひとりで3箇所のブースで話を聞く事ができるような日程でした。今回は専門学校のガイダンスの様子を紹介します。



進路ノートと筆記用具を持ち、少々緊張気味の3年生もいたように思われます。20人前後で話を聞くブースもありましたが、本校の卒業生の進路先でもある国保松戸市立病院附属看護専門学校、国際理容美容

専門学校、淑徳幼児教育専門学校など52校の専門学校が42のブースに分かれ、だいたい5、6人で、説明を聞くことができた様子です。たった一人で話を聞いているブースでは、生徒が講師の方と膝を寄せ合い、しっかりと受け答えをしており、さすが六実高校の3年生だと感心させられました。講師の方たちも、学校のパンフレットなどをつかい、学校の様子はもちろん、卒業後の進路先、職業の内容などを「『歯科衛生士』と『歯科技工士』の違いはしていますか？」「調理・栄養・製菓のどれを希望しているの？」「一種と二種の資格の取り方は……」等々、質疑応答しながら、生徒によくわかるように丁寧に説明して下さっていました。また、学習相談、受験相談、奨学金・学生寮案内、大学・短大個別相談、専門学校個別相談などを担当する「総合コーナー」もあり、参加した生徒は、「進路の決定に迷っていたので、とても参考になりました。」と感想をもらっていました。

ガイダンス終了後、「国家試験の合格率が高いから、やっぱり〇〇学校にしよう！」とか、「〇〇学校は、家から遠いし、カリキュラムの内容もイマイチなのでやめた。」「資格がたくさん取れる〇〇学校がいいな。」など、友達と目を輝やかせながら話をしている生徒の姿が印象的でした。人生の大きな分岐点……今回得た情報をもとに更に詳細な情報を集め、志望校を決定してほしいと思います。将来に向かって大きなステップを踏み出した3年生の姿は本当に頼もしく見えました。

5月15日(木)の5・6限の時間に進路ガイダンスが行われ、多くの大学・短大・専門学校が参加し、直接それぞれの大学・短大の様子や特徴について聞く機会があり、みんなにとって色々参考になることがあったと思います。そこで得た知識を参考にしながら、今後も多くの学校のパンフレットを取り寄せて調べたり、インターネットでも検索してみることも必要でしょう。そして何より、6月の三者面談の時や期末試験後の時間を利用したり、さらには夏休み中に、自分が考えている学校のオープンキャンパス・体験入学などに参加して、自分の志望校をしっかりと決める事が重要でしょう。さらに、志望校が決まっても入学できなければ何もならないので、入試の方法、その内容、受験の教科等をしっかりと調べて、その準備をすぐにでも行っていくことが大切です。